

研究室 からの メッセージ

143

左から 山口、門間
尾崎、細川

Data(2016年 10月現在)

所在地: 〒467-8601 愛知県名古屋市瑞穂区瑞穂町川澄1

スタッフ: 門間晶子(教授), 尾崎伊都子(准教授), 山口知香枝(講師), 細川陸也(助教)

URL <http://www.nagoya-cu.ac.jp/academics/undergrad-nurse/index.html>



名古屋市立大学看護学部 地域保健看護学領域

History and Now

どのような機関なのでしょう？

6学部7研究科からなる公立総合大学である名古屋市立大学は、医学・薬学・看護学の医療系3学部をもつ点が特徴の1つです。看護学部は、名古屋市立大学看護学校、同看護短期大学部を前身とし、1999(平成11)年に開学しました。1学年80人で看護師および選択制保健師教育を行っており、大学院看護学研究科には博士前期(助産師コースを含む)・後期課程があります。地域保健看護学は4人の教員で構成され、学部教育および大学院博士前期・後期課程の教育に携わっています。

Research

どのような研究をしていますか？

各教員がテーマをもち、「地域における子育て支援・子ども虐待予防」「生活習慣の改善に向けた保健指導方法」「アレルギーの子どもをもつ家族への育児支援」「幼児期の社会性発達への支援」等について研究しています。研究方法も量的研究から質的研究、あるいは介入研究までさまざまです。今年度は他大学と共同で子育て期の家族支援に関する研究に取り組んでいます。大学院生の研究テーマも労働者の保健行動、保健師の専門性、認知症高齢者支援、子育て支援、在宅療養支援等、多岐にわたります。

Education

どのような教育をしていますか？

学部では主に在宅看護学と選抜された20人への保健師教育を担っています。育てたい保健師像は、社会の変化に伴う健康課題に柔軟に取り組んで解決方法を創造できる、地域住民とともに働く人々と発展的な関係性を築くことができる、そして自らの健康課題を認識しない・表出しない人々への支援を諦めない保健師です。そのため、ロールプレイや事例検討を用いた教育を工夫し、実習以外のフィールドワークも重視しています。卒業生保健師の支援として、交流会も毎年開いています。

Collaboration

保健活動の現場とのつながりは？

保健医療福祉の行政部門や社会福祉協議会等の依頼を受けて、保健師等専門職者の現任教育、各種保健医療福祉計画の策定・評価、難病や災害等の地域保健の体制整備・マニュアル作成、実態調査等に携わっています。このような地域貢献や研究における現場との関係性は、学生が正規の実習以外に「フィールドワーク」として地域の防災活動、事業所の健康関連イベント、障がい児・多胎児、ひとり親のサークル、難病患者家族のつどいなどに参加して人々から直接学ぶ機会にもつながっています。

ひとこと

人々の生活から学ぶ。それが研究や教育におけるモットーです。他者や住民を変えようとするのではなく、自ら変わることを恐れず楽しむ人でありたいと願っています。この世の中のさまざまな場面で看護の機能が発揮できるという幅広さと面白さを、学生を含め多くの方と共有したいと思います。

……門間

あなたの研究室を紹介してください! 保健師ジャーナルでは、このページに登場してくださる研究室(保健師教育に関わる講座・分野・領域)を募集しています。研究室での保健師教育の特色や、研究活動、現場とのつながりをご紹介します。

応募方法 ●電話、FAX、E-mailのいずれかにて編集室までご連絡ください。掲載分には医学書院特製図書カードを進呈いたします。

連絡先 ●医学書院『保健師ジャーナル』編集室 ☎03-3817-5774 ☎03-5804-0485 ✉hokenshi@igaku-shoin.co.jp